

コース変更できないと時間をムダにする

7～10月には口頭試験対策すべきなのに、合否が不明なので結果待ちでムダに過ごすことに・・・。

図1に示すように、①筆記試験の合格が確信できる場合は、迷うことなく8月からすぐに口頭試験対策を行なえます。また、逆に②筆記試験の不合格が確定した場合は翌年度筆記試験に向かって準備するしかありません。

一方、③筆記試験の合否があいまいな場合は、上記①②のいずれとも決断できず、**何もせずにすごして時間をムダにしがち**です。そして、もしも筆記試験が合格していたとすると、発表から1ヶ月で口頭試験に臨まねばなりません。これでは**準備不足でせっかく手にした筆記試験の合格をムダにしてしまう**ことになりかねません。このような失敗はあってはなりません。このような問題に対処するため本講座はご提案します。次の図をご覧ください。

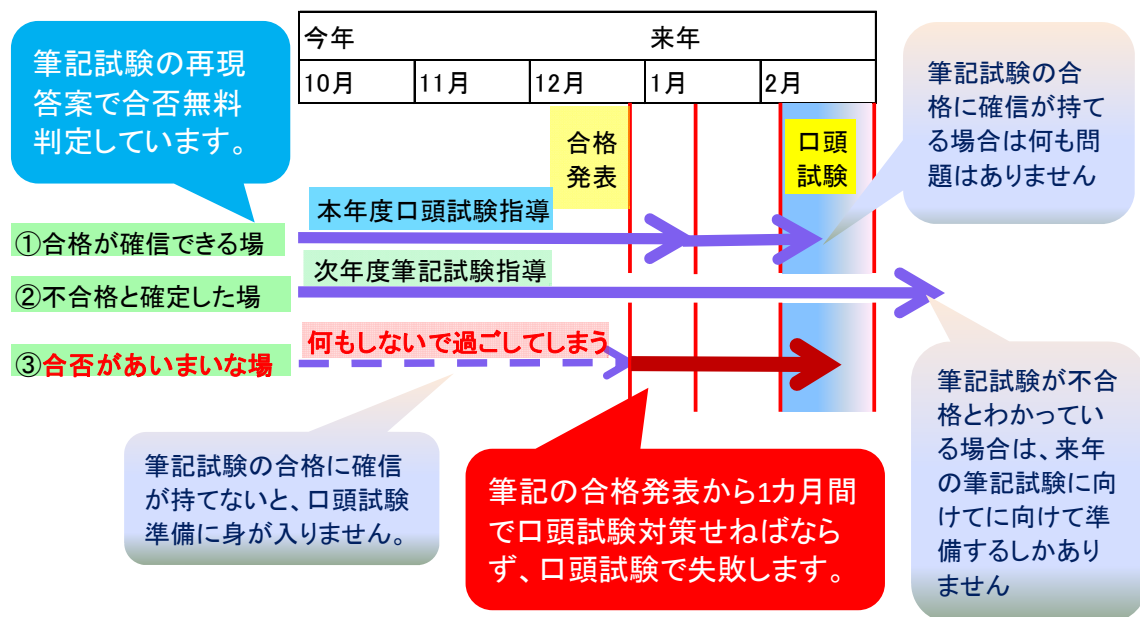


図1 一般的な試験準備と合否があいまいな場合の問題点